



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

6県(長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県)でケンサキイカ(地方名:マイカ、シロイカ)の情報(各地の漁況と底層水温)を共同発行しましたので、お知らせします。

## I. 6月のイカ釣り漁況

◎各県の主要漁港における6月の水揚状況について(平年は直近の過去5年平均)。

鳥取県	主要漁港の水揚量は、前年を下回り、平年を上回りました(前年比53%、平年比112%)。
島根県	主要漁港の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比42%、平年比45%)。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました。(前年比123%、平年比83%)
福岡県	代表港の水揚量は、前年を下回り、平年並みでした(前年比48%、平年比101%)。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました(前年比127%、平年比79%)。
長崎県	標本漁港の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比36%、平年比50%)。

※前年・平年比の評価は、90%以下では「下回る」、91%から109%では「並み」、110%以上では「上回る」としています。

◎各県の「1日1隻当たりの漁獲量(CPUE)の月別動向」(鳥取県のみ漁獲量で表示)および「6月の漁獲サイズ」について

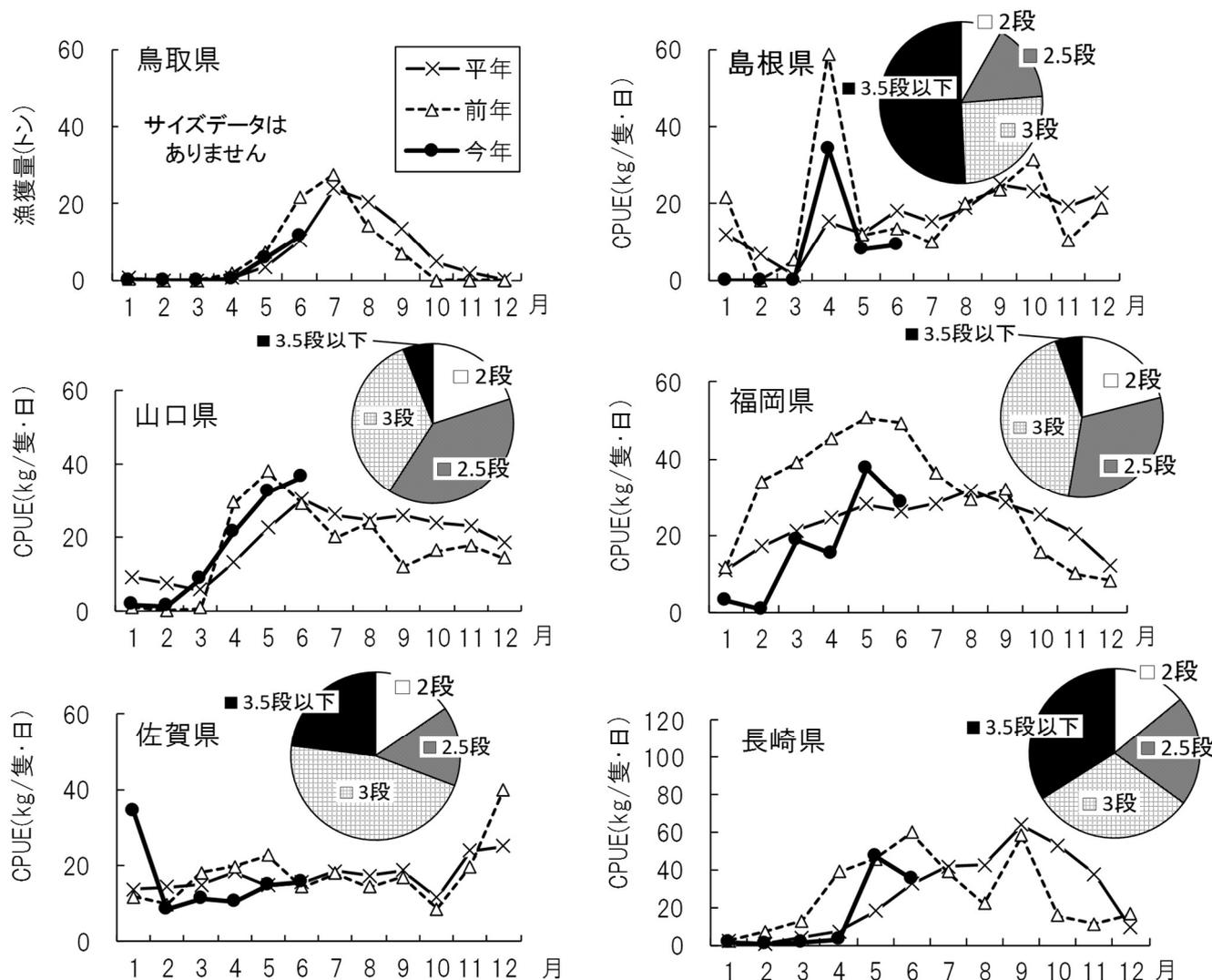


図1 各県の漁獲量またはCPUE(折れ線グラフ)および漁獲サイズの割合(円グラフ)

## Ⅱ. 7月上旬の底層水温

鳥取県	陸棚域（水深 77～141m）の底層水温は 8.78～19.6℃でした。
島根県	7月には水温データがありません。
山口県	陸棚上（水深 62～139m）の底層水温は 6.6～19.5℃でした。
福岡県	沖合の底層水温は 17～18℃台で、やや高め～かなり高めでした。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は 22.0～23.4℃、対馬東水道は 15.1～21.9℃で、平年値と比べ-0.8～2.3℃でした。
長崎県	五島西沖の底層水温は 15～18℃台で推移しました。

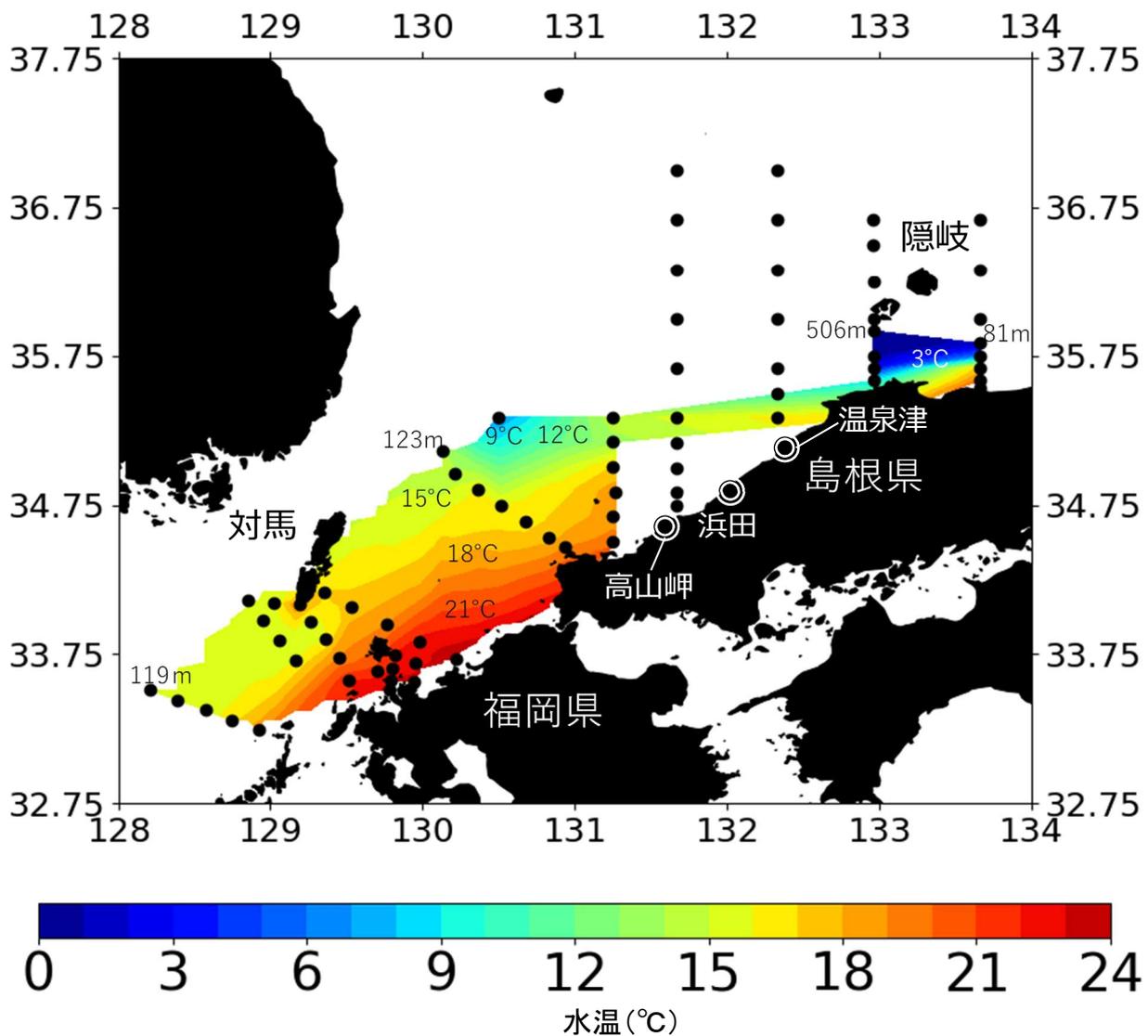


図2 長崎県～鳥取県の沿岸域・沖合域における底層の水温分布図

図中の黒丸（●）は観測点を、数字は水温もしくは水深を示しています。

※モノクロ印刷の場合、水温帯の色の識別が困難ですので、ホームページでカラー版をご覧ください。